

(別紙様式 1 - 2)

(医療専門課程柔道整復学科) 令和元年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			健康心理学	心理学	2 前	34	2	○			○		○		
○			人文科学 2	医学英語	1 後	34	2	○			○			○	
○			健康科学	栄養学	2 後	34	2	○			○			○	
○			自然科学 1	生化学	1 前	34	2	○			○		○		
○			自然科学 2	生化学	1 後	34	2	○			○		○		
○			社会科学 1	社会と経済	1 前	34	2	○			○		○		
○			社会科学 2	医療情報学 1	3 前	34	2	○			○		○		
○			人体の構造 1	解剖学	1 前	34	2	○			○			○	
○			人体の構造 2	解剖学	1 後	34	2	○			○			○	
○			人体の構造 3	解剖学	1 前	34	2	○			○			○	
○			人体の構造 4	解剖学	1 後	34	2	○			○			○	
○			人体の構造 5	解剖学	2 前	34	2	○			○			○	
○			人体の構造 6	解剖学	2 後	34	2	○			○			○	
○			人体の機能 1	生理学	2 前	34	2	○			○		○		
○			人体の機能 2	生理学	2 後	34	2	○			○		○		
○			人体の機能 3	生理学	3 前	34	2	○			○		○		
○			人体の機能 4	生理学	3 後	34	2	○			○		○		
○			人体の構造と機能 1	運動学総論	3 前	34	2	○			○		○		
○			人体の構造と機能 2	運動学	3 後	34	2	○			○		○		
○			疾病の成り立ち 1	病理学概論	2 前	34	2	○			○			○	
○			疾病の成り立ち 2	病理学概論	2 後	34	2	○			○			○	

○		疾病の診方と病態 1	一般臨床医学総論	3前	34	2	○			○			○
○		疾病の診方と病態 2	一般臨床医学総論	3後	34	2	○			○			○
○		疾病の診方と病態 3	一般臨床医学各論	4前	34	2	○			○			○
○		疾病の診方と病態 4	一般臨床医学各論	4後	34	2	○			○			○
○		疾病の診方と病態 5	整形外科学	2前	34	2	○			○			○
○		疾病の診方と病態 6	整形外科学	2後	34	2	○			○			○
○		外科学概論 1	外科学概論	3前	34	2	○			○			○
○		外科学概論 2	外科学概論	3後	34	2	○			○			○
○		保健と衛生 1	衛生学・公衆衛生学	4前	30	2	○			○			○
○		保健と衛生 2	環境衛生・感染症・消毒	4後	30	2	○			○			○
○		柔道 1	柔道実技	1前	30	2				○	○		○
○		柔道 2	柔道実技	1後	30	2				○	○		○
○		柔道 3	柔道実技	2前	30	2				○	○		○
○		柔道 4	柔道実技	3前	30	2				○	○		○
○		柔道 5	柔道実技	4前	34	2				○	○		○
○		社会保障制度	療養費の正しい取り扱い・職業倫理	3前	15	1	○			○			○
○		関係法規 1	関係法規	4前	34	2	○			○			○
○		関係法規 2	医療保険の仕組みと関係法規	4後	34	2	○			○			○
○		基礎柔道整復学 1	体の仕組み	1後	34	2	○			○			○
○		基礎柔道整復学 2	柔道整復総論	1後	34	2	○			○			○
○		基礎柔道整復学 3	体の仕組み	1前	34	2	○			○			○
○		基礎柔道整復学 4	柔道整復総論	1前	34	2	○			○			○
○		基礎柔道整復学 5	柔道整復歴史と沿革	1前	34	2	○			○			○
○		外傷の保存療法 1	外傷の保存療法	2前	34	1	○			○			○
○		外傷の保存療法 2	運動生理学	2後	34	1	○			○			○

○		臨床柔道整復学 1	骨折各論（上肢・頭部・体幹）	2 前	34	2	○			○	○		
○		臨床柔道整復学 2	骨折各論（上肢・頭部・体幹）	2 後	34	2	○			○	○		
○		臨床柔道整復学 3	脱臼各論（上肢・頭部・体幹）	2 前	34	2	○			○	○		
○		臨床柔道整復学 4	脱臼各論（上肢・頭部・体幹）	2 後	34	2	○			○	○		
○		臨床柔道整復学 5	軟部組織損傷各論（上肢・頭部・体幹）	3 前	34	2	○			○	○		
○		臨床柔道整復学 6	軟部組織損傷各論（上肢・頭部・体幹）	3 後	34	2	○			○	○		
○		臨床柔道整復学 7	柔整研究（研究論文）	3 前	34	2	○			○	○		
○		臨床柔道整復学 8	軟部組織損傷各論（下肢）	3 後	34	2	○			○	○		
○		臨床柔道整復学 9	骨折・脱臼各論（下肢）	3 前	34	2	○			○	○		
○		臨床柔道整復学 10	骨折・脱臼各論（下肢）	3 後	34	2	○			○	○		
○		柔道整復後療法 1	柔道整復学総論（外傷予防・物理療法総論）	2 前	34	1	○			○	○		
○		柔道整復後療法 2	高齢者の外傷予防	2 後	34	1	○			○		○	
○		包帯固定法 1	基本包帯法	1 前	34	1			○	○	○		
○		包帯固定法 2	基本包帯法	1 後	34	1			○	○	○		
○		包帯固定法 3	包帯固定法	1 前	34	1			○	○		○	
○		包帯固定法 4	包帯固定法	1 後	34	1			○	○	○		
○		柔道整復実技 1	人体の触察法	1 後	34	2			○	○		○	
○		柔道整復実技 2	上肢骨折実技と下肢骨折実技	3 前	34	1			○	○	○		
○		柔道整復実技 3	上肢骨折実技と下肢骨折実技	3 後	34	1			○	○	○		
○		柔道整復実技 4	上肢脱臼実技	3 前	34	1			○	○		○	
○		柔道整復実技 5	上肢脱臼実技と下肢脱臼実技	3 後	34	1			○	○		○	
○		柔道整復実技 6	認定実技対策	4 前	34	1			○	○		○	
○		柔道整復実技 7	認定実技対策	4 後	34	1			○	○		○	
○		柔道整復実技 8	物理療法の取り扱い方	3 後	34	1			○	○	○		
○		観察能力と分析	観察能力と分析	1 前	15	1			○	○	○	○	

○		スポーツ外傷の予防2	高齢者及び競技者の外傷予防技術	3前	15	1	○		○	○			○	○
○		運動指導法	高齢者・競技者・健常者の運動指導法	2後	34	2	○		○		○			
○		臨床実習1	早期臨床実習	1後	45	1			○	○		○		
○		臨床実習2	医療センター・介護施設実習	2前	45	1			○		○		○	
○		臨床実習3	附属整骨院臨床実習	3後	45	1			○	○		○		
○		臨床実習4	病院実習	4前	45	1			○		○		○	○
○		社会生活	学会・救護実習等	1後	15	1			○	○	○	○	○	○
○		健康づくり運動の実際1	ウォーキング・ジョギング	2前	15	1			○	○		○		
○		健康づくり運動の実際2	エアロビクス・ストレッチ	3前	15	1			○	○		○	○	○
○		健康づくり運動の実際3	水泳・水中運動	3後	15	1			○		○	○	○	○
○		健康づくり運動の実際4	レジスタンス運動、ウォーミングアップとクーリングダウン	3後	15	1			○	○		○		
○		応用柔道整復学1	医療情報学2	4前	34	2			○			○		
○		応用柔道整復学2	解剖学（国対）	4前	34	2			○			○		
○		応用柔道整復学3	解剖学（国対）	4後	34	2	○			○		○	○	
○		総合柔道整復学1	生理学（国対）	4前	34	2	○			○		○		
○		総合柔道整復学2	生理学（国対）	4後	34	2	○			○		○		
○		総合柔道整復学3	生理学（国対）	4後	34	2	○			○		○		
○		総合柔道整復学4	柔道後期、柔道整復学（国対）	4後	34	2	○			○		○	○	
○		総合柔道整復学5	卒業論文	4後	34	2	△		○	○		○		
○		総合柔道整復学6	柔道整復学・総論、体幹、上肢（国対）	4前	34	2	○			○		○		
○		総合柔道整復学7	運動学・リハビリ（国対）	4前	34	2	○			○		○		
○		総合柔道整復学8	柔道整復学・下肢（国対）	4後	34	2	○			○		○		
○		総合柔道整復学9	運動学・リハビリ（国対）	4後	34	2	○			○		○		
○		総合柔道整復学10	整形外科学／外科学（国対）	4後	34	2	○			○		○		
○		柔道整復術の適応1	柔道整復学総論	2後	34	2	○			○		○		

○		柔道整復術の 適応 2	医用画像の理解	4 前	34	2	○			○		○	
○		体力測定法と 評価法	体力測定と評価	2 前	34	2	○			○		○	
○		生活機能の障害 と機能回復 1	リハビリテーション医学	2 前	34	2	○			○			○
○		生活機能の障害 と機能回復 2	リハビリテーション医学	2 後	34	2	○			○			○
○		柔道整復理念と 職業倫理	解剖見学実習	2 前	15	1			○		○		○ ○
合計			科目	3343 単位時間 (174 単位)									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
所定の修業年限以上在学し所定の単位を修得した者については、認定会議の審議を経て卒業を認定し、卒業証書を授与する。		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	3 4 週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3 (3) の要件に該当する授業科目について○を付すこと。